

保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

公表:平成31年4月15日

事業所名:君津郡市広域市町村圏事務組合 児童発達支援センター きみつ愛児園

保護者の方のご意見を踏まえ、運営における課題点及び改善すべき点を確認し、今後の運営に生かしていきます。

配布枚数 48枚、回答枚数 42枚、回答率 88%

| チェック項目 | | はい | どちらとも いえない | いいえ | わからない | ご意見 | ご意見を踏まえた対応 |
|--|---|-----|---------------|-----|-------|---|--|
| 環境・ 体制整備 | 1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか | 81% | 14% | 0% | 5% | 室内は良いがグラウンドは少し狭いように感じる。訓練室は広く、自由に活動できる場だと思う。 | グラウンドについては、限られたスペースでの使用になりますが、安全面等工夫しながら行事等行っていきます。 |
| | 2 職員の配置数や専門性は適切であるか | 69% | 22% | 7% | 2% | 職員が少ないように感じる。専門員を増やしてほしい。 | 人員配置基準に沿った職員確保に努めます。専門職員については、現在業務委託契約での対応しております。 |
| | 3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境※1になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか | 74% | 14% | 0% | 12% | ひとつひとつの扉がもう少し大きくてもいいと思う。床があたたかいとより良い。 | 建物、設備については、修繕計画を立て計画的に行っていきます。 |
| | 4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか | 74% | 21% | 0% | 5% | 清掃は行き届いているが、建物が古い。トイレが古い。雨や雪の日に濡れずに車に乗り降りできる場所が欲しい。 | 職員による清掃及び消毒を行っており、引き続き環境整備に努めます。 |
| 適切な 支援の 提供 | 5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、個別支援計画※2が作成されているか | 98% | 2% | 0% | 0% | 説明が明確なので理解納得できた。 | |
| | 6 個別支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか | 74% | 5% | 0% | 21% | ガイドラインがあることを知らなかったが、支援内容は具体的だった。 | アンケートでも「わからない」と回答がありましたので、ガイドラインに沿った内容であること、また日々の活動内容についても、おたより帳への記入や面談時等での説明を行っていきます。 |
| | 7 個別支援計画に沿った支援が行われているか | 91% | 2% | 0% | 7% | 個別の時間には行っていると思うが、日中の活動の中で支援されているかわからない。 | |
| | 8 活動プログラム※3が固定化しないよう工夫されているか | 91% | 7% | 0% | 2% | 季節に合わせた活動もあり、子ども達が楽しみながら取り組める内容になっている。 | |
| | 9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか | 89% | 7% | 2% | 2% | もう少し交流が増えることを期待する。 | 交流保育を市内公立保育園と連携し行っていますが、回数の増加については、保育園側等と相談する時間を頂きたいと思います。 |
| 保護者 への 説明 等 | 10 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか | 93% | 5% | 0% | 2% | | |
| | 11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「個別支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか | 88% | 5% | 0% | 7% | | |
| | 12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング※4等)が行われているか | 57% | 14% | 5% | 24% | 面接はしたがそれがペアレントトレーニングかわからない。 | 家族支援プログラムがどういことなのかという点も踏まえ、面談時等で丁寧に説明していきます。 |
| | 13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか | 88% | 12% | 0% | 0% | | |
| | 14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか | 95% | 5% | 0% | 0% | | |
| 15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか | 69% | 17% | 2% | 12% | | 保護者役員を通して行っているのが現状となっています。 | |

保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

公表:平成31年4月15日

事業所名:君津郡市広域市町村圏事務組合 児童発達支援センター きみつ愛児園

保護者の方のご意見を踏まえ、運営における課題点及び改善すべき点を確認し、今後の運営に生かしていきます。

配布枚数 48枚、回答枚数 42枚、回答率 88%

| | | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | わからない | ご意見 | ご意見を踏まえた対応 |
|----------|----|---|-----|---------------|-----|-------|--|---|
| 保護者への説明等 | 16 | 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか | 88% | 5% | 0% | 7% | 母子登園ということもあり、職員に相談しやすく、迅速にいつも対応してくれる。 | |
| | 17 | 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか | 86% | 10% | 2% | 2% | おたより帳にはその日のプログラムしか書かれておらず、他の保護者から聞くことが多いのもっと詳しく書いてほしい。 | おたより帳への記入の仕方について、今後検討対応していきます。 |
| | 18 | 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか | 57% | 17% | 0% | 26% | ホームページなど見ていないのでわからない。 | 組合ホームページで自己評価結果の公表を行っていることの周知をしていきます。 |
| | 19 | 個人情報の取扱いに十分注意されているか | 95% | 5% | 0% | 0% | | |
| 非常時等の対応 | 20 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。 | 88% | 10% | 0% | 2% | | |
| | 21 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか | 93% | 0% | 0% | 7% | 避難訓練は予告なしで毎月行っているので災害発生へ役立つと思う。 | |
| 満足度 | 22 | 子どもは通所を楽しみにしているか | 93% | 5% | 0% | 2% | 転園してから登園しぶりがなくなった。毎日楽しみに通っている。 | |
| | 23 | 事業所の支援に満足しているか | 84% | 12% | 2% | 2% | 支援時間がもう少し長いとありがたい。 | 当園では、児童発達支援提供時間が10時～2時半(木曜日は2時)までとなっており、その時間に合わせバス通園での対応も行っています。バス使用時間も考慮している点ご理解をお願いいたします。 |

(注釈)

※1「本人にわかりやすく構造化された環境」は、この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。

※2「個別支援計画」は、児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センターの児童発達支援管理責任者が作成します。

※3「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障害の特性や課題等に応じて柔軟に組み合わせて実施されるのが想定されています。

※4「ペアレント・トレーニング」は、保護者が子どもの行動を観察して障害の特性を理解したり、障害の特性を踏まえた褒め方等を学ぶことにより、子どもが適切な行動を獲得することを目標とします。

児童発達支援事業における自己評価結果(公表)

公表:平成31年4月15日

事業所名:君津郡市広域市町村圏事務組合 児童発達支援センター きみつ愛児園

職員の意見を踏まえ、自己評価の結果を公表します。

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 無回答 | 改善すべき点を踏まえた改善内容、工夫している点など |
|----------|----|---|-----|-----|-----|--|
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか | 93% | 7% | 0% | |
| | 2 | 職員の配置数は適切であるか | 14% | 86% | 0% | 人員配置基準に沿った職員採用、臨時職員任用に努めます。 |
| | 3 | 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか | 71% | 29% | 0% | |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか | 57% | 43% | 0% | 建物や設備の老朽化に対応するため、修繕計画を立て計画的に行っていきます。 |
| 事業改善 | 5 | 業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか | 50% | 43% | 7% | 全職員が参画できるよう図っていきます。 |
| | 6 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか | 57% | 29% | 14% | 保護者アンケートもを行い、評価結果を踏まえ具体的に今後どのようにしたら良いか検討し、業務改善につなげていきます。 |
| | 7 | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか | 72% | 14% | 14% | 外部研修については、回覧し、周知をしています。 |
| 適切な支援の提供 | 8 | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか | 93% | 0% | 7% | |
| | 9 | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか | 86% | 7% | 7% | |
| | 10 | 個別支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか | 86% | 7% | 7% | |
| | 11 | 個別支援計画に沿った支援が行われているか | 93% | 0% | 7% | |
| | 12 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか | 64% | 29% | 7% | |
| | 13 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか | 79% | 14% | 7% | 固定化しないよう、新しいアイデアを出し合い、工夫していきます。 |
| | 14 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる個別支援計画を作成しているか | 79% | 14% | 7% | |
| | 15 | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか | 64% | 29% | 7% | 全ての職員が打ち合わせに参加できるよう図っていき、情報共有に努めます。 |
| | 16 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか | 64% | 29% | 7% | |

児童発達支援事業における自己評価結果(公表)

公表:平成31年4月15日

事業所名:君津郡市広域市町村圏事務組合 児童発達支援センター きみつ愛児園

職員の意見を踏まえ、自己評価の結果を公表します。

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 無回答 | 改善すべき点を踏まえた改善内容、工夫している点など |
|--------------|----|---|-----|-----|-----|--|
| | 17 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか | 71% | 21% | 7% | |
| | 18 | 定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断しているか | 86% | 7% | 7% | |
| 関係機関や保護者との連携 | 19 | 障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか | 71% | 14% | 14% | |
| | 20 | 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか | 93% | 0% | 7% | |
| | 21 | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか | 86% | 7% | 7% | |
| | 22 | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか | 86% | 7% | 7% | 必要なケースによっては、保護者を通じ対応などを聞いています。 |
| | 23 | 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか | 79% | 14% | 7% | |
| | 24 | 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか | 86% | 7% | 7% | |
| | 25 | 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか | 64% | 32% | 14% | |
| | 26 | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか | 93% | 7% | 0% | 定期的に市内保育園と交流保育を行っています。 |
| | 27 | (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか | 64% | 29% | 7% | |
| | 28 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか | 93% | 0% | 7% | おたより帳に記入された保護者からの質問について、直接保護者と話したり、おたより帳で返事をしています。 |
| | 29 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか | 43% | 43% | 14% | |
| 保護者への説明責任等 | 30 | 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか | 86% | 7% | 7% | |
| | 31 | 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「個別支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から個別支援計画の同意を得ているか | 93% | 0% | 7% | |
| | 32 | 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか | 93% | 0% | 7% | |

児童発達支援事業における自己評価結果(公表)

公表:平成31年4月15日

事業所名:君津郡市広域市町村圏事務組合 児童発達支援センター きみつ愛児園

職員の意見を踏まえ、自己評価の結果を公表します。

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 無回答 | 改善すべき点を踏まえた改善内容、工夫している点など |
|------------|----|---|------|-----|-----|---|
| 保護者への説明責任等 | 33 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか | 93% | 0% | 7% | |
| | 34 | 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか | 93% | 0% | 7% | 保護者からの希望があれば時間を取るようにしています。 |
| | 35 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか | 79% | 14% | 7% | |
| | 36 | 個人情報の取扱いに十分注意しているか | 93% | 0% | 7% | |
| | 37 | 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか | 93% | 0% | 7% | 日々のおたより帳や必要であれば個別に相談を受けています。 |
| | 38 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか | 43% | 50% | 7% | 交流保育先の園児を招待し、地元社会奉仕団体参加のもとお楽しみ会を開催しています。 |
| 非常時等の対応 | 39 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知しているか | 86% | 7% | 7% | |
| | 40 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか | 100% | 0% | 0% | |
| | 41 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか | 93% | 0% | 7% | |
| | 42 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか | 93% | 0% | 7% | |
| | 43 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか | 57% | 22% | 21% | ヒヤリハットの作成はしているが、全職員の共有がされていないので情報共有に努めます。 |
| | 44 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか | 64% | 22% | 14% | 外部研修を利用するなど、積極的に参加できるようにしていきます。 |
| | 45 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、個別支援計画に記載しているか | 64% | 22% | 14% | |